

Dyndrite RoadShow2026

米国発AM用CAMソフト”ディンドライト”WorkShop

ABOUT

Dyndriteは、材料・プロセス開発エンジニア向けの革新的なCAMソフトウェアで、高精度な材料パラメータの開発を目指しています。金属LPBF方式の複雑化に伴い、プロセスパラメータの精密な制御が求められています。今回 Dyndriteの仮想マシンを使用して、PC上で実際にソフトウェアを操作し、高性能で拡張性のある機能を体験できます。これにより、設計から製造までのプロセスの効率化を学べます。また、最新機能が業界標準を超えたパフォーマンスを提供する方法も紹介します。興味のある方は、愛知産業株式会社へお問い合わせください。参加をお待ちしております。

SPECIAL SPEAKER



STEPHEN ANDERSON
(ステファン・アンダーソン)

VP OF BUSINESS DEVELOPMENT
(事業開発責任者)



DAHLON LYLES
(デイロン・レイルス)

APPLICATION ENGINEER
(アプリケーションエンジニア)



MITSUO AKUTSU
(阿久津 光雄)

新規事業部長

コメント

DYNDRITEにより現状のメインパラメーターとダウンスキンパラメーターでは造形ができないものが能になりました。

品質を考えた際、幾通りにもなるダウンスキンについては個々に機械的特性を取っていき使えるパラメーターを準備していかなくてはならない。これらの蓄積を適材適所に割り振ることにより新たなノウハウとなり未来へのものづくりに役立つのではないのでしょうか。

2026年1月27日13時~17時
(17時30分より同会場にて立食形式の懇親会あり)

開催場所：〒108-0074
東京都港区高輪4-10-18 京急第一ビル4階
TKPガーデンシティPREMIUM品川高輪口

PROGRAM

- 12:30 受付開始
- 13:10 愛知産業のご紹介
- 13:30 DYNDRITE社の紹介・最新事例のプレゼンテーション
 - 最新バージョンの特徴
 - 海外における活用事例
 - プロセス最適化に関する成功事例
- 14:10 埼玉車体の造形事例の紹介
 - 導入の背景
 - 造形に関する課題と改善点
 - 成果および今後の展開
- 14:45 休憩
- 15:00 ワークショップ：DYNDRITE ハンズオン（顧客PCでの操作体験）
 - 初期セットアップ
 - CADデータの取り込み
 - ツールパス生成の体験
 - 最適化パラメータの調整体験
 - 実際の業務での活用イメージの共有
- 16:25 質疑応答・まとめ
- 17:00 閉会
- 17:15 懇親会（立食形式）

HIGHLIGHTS

今回のセミナーでは、次世代AMソフトとして注目されるDYNDRITEの最新機能と活用事例を、国内外の実例を交えて紹介します。DYNDRITEは、従来のAMソフトでは難しかった高速処理・自由度の高いレーザーパス生成・量産向け自動化を実現し、多くのグローバル企業で採用が進むプラットフォームです。セミナーでは、最新バージョンの特徴と最適化事例により、AM技術の最新トレンドを短時間で把握できます。さらに、国内事例として埼玉車体での造形プロジェクトを紹介し、課題・改善内容・量産化への展開をわかりやすく共有します。後半は参加者のPCにてDYNDRITEのハンズオンWORKSHOPを実施。CAD取り込み、ツールパス生成、最適化設定を実際に操作し、DYNDRITEの高速演算と柔軟なパラメータ設計を体感いただけます。これからのAM標準技術”を理解し、自社での活用を具体的に思い描ける内容です。ぜひご参加いただき、最新のAMワークフローとDYNDRITEの可能性をご体験ください。